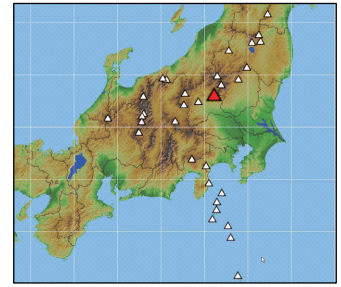


(42. 赤城山)

## 42. 赤城山 Akagisan

北緯 36° 33′ 37″ 東経 139° 11′ 36″ 標高 1,828m (黒檜山) (三角点)



赤城山全景 前橋市内より 2011年12月10日 気象庁撮影

### 概要

底面の径約 25km 大型の成層火山。安山岩の成層火山を形成した後に、約 7～5 万年前の間のいずれかにデイサイト火砕流の流出と湯ノ口軽石の噴出によって山頂カルデラ(南北 4km × 東西 3km)を形成した。その後、中央火口丘形成期に入るが、約 4～4.5 万年前の間のいずれかに鹿沼軽石が噴火。カルデラ内に小沼・地蔵岳・見晴山などのデイサイト溶岩ドーム、小沼タフリングが形成され、これらの活動は約 24000 年前には終了した(守屋, 1970; 竹本, 1998; 早川, 1999)。大沼はカルデラ内低地の湖。現在、噴気・硫気孔は現存しない。1251 年に噴火した記録が残るが古記録と対応する噴出物は発見されていない。構成岩石の SiO<sub>2</sub> 量は 51.5～71.8 wt.% である。



地形図

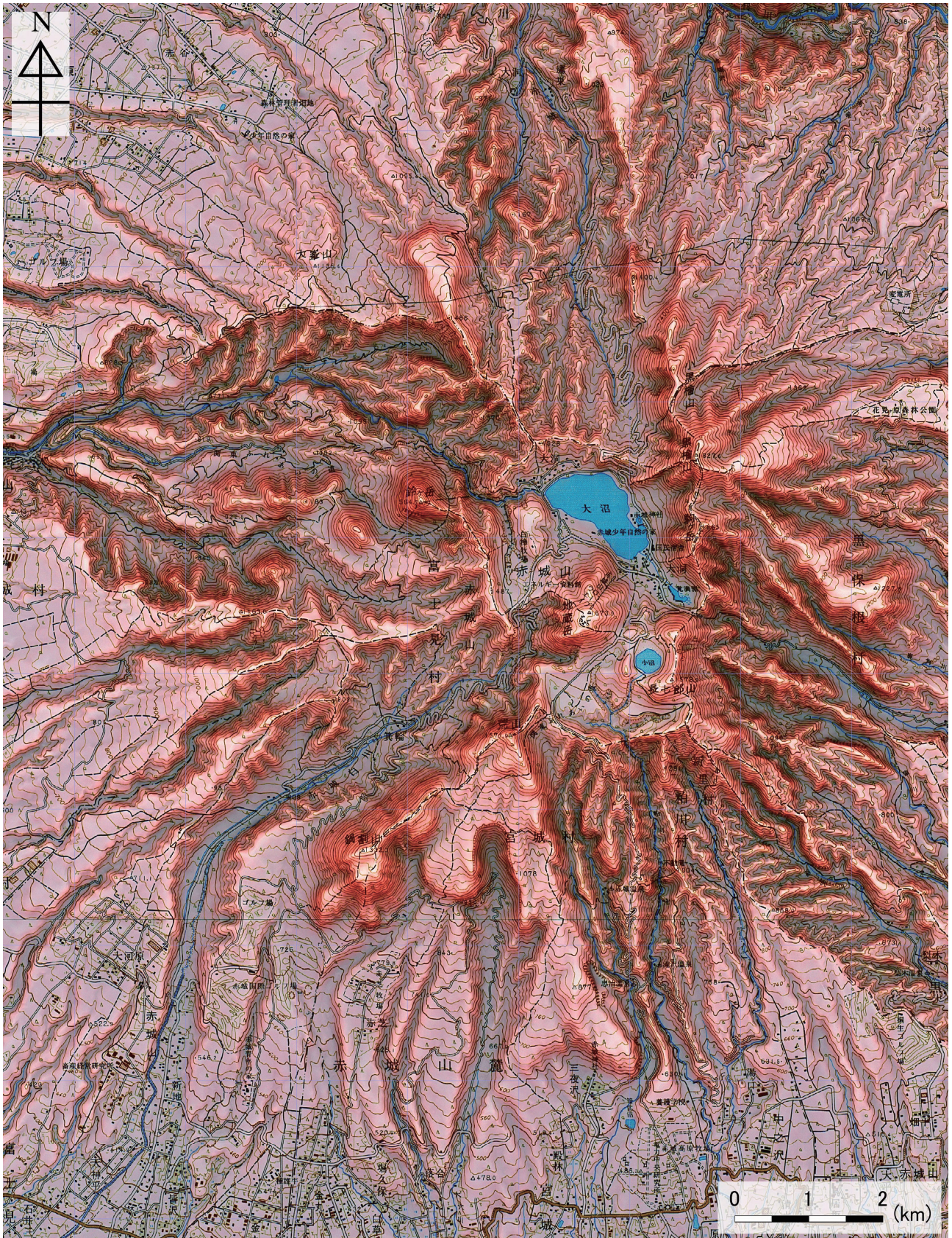


図 42-1 赤城山の地形図.

国土地理院発行の5万分の1地形図(前橋、沼田)及び数値地図50mメッシュ(標高)



## 噴火活動史

### ・ 過去 1 万年間の噴火活動

中央火口丘形成期、すなわち過去 5~6 万年から現在に至る間、プリニー式噴火は、4~5 万年前の間のいずれかに起きた鹿沼軽石噴火(青木・他, 2008)の 1 回に限られている(鈴木, 1990)。

### ・ 有史以降の火山活動

1251(建長 3)年 5 月 18 日 噴火?

本噴火による噴出物は発見されていない。また、噴火の根拠とされる吾妻鏡の記録は、噴火記録ではなく、山火事であるという主張がある(早川, 1999)。その一方で、同時期の噴火を記録していると考えられる別の歴史記録も発見・報告されている(峰岸, 2003、及川, 2012)。

## 近年の火山活動

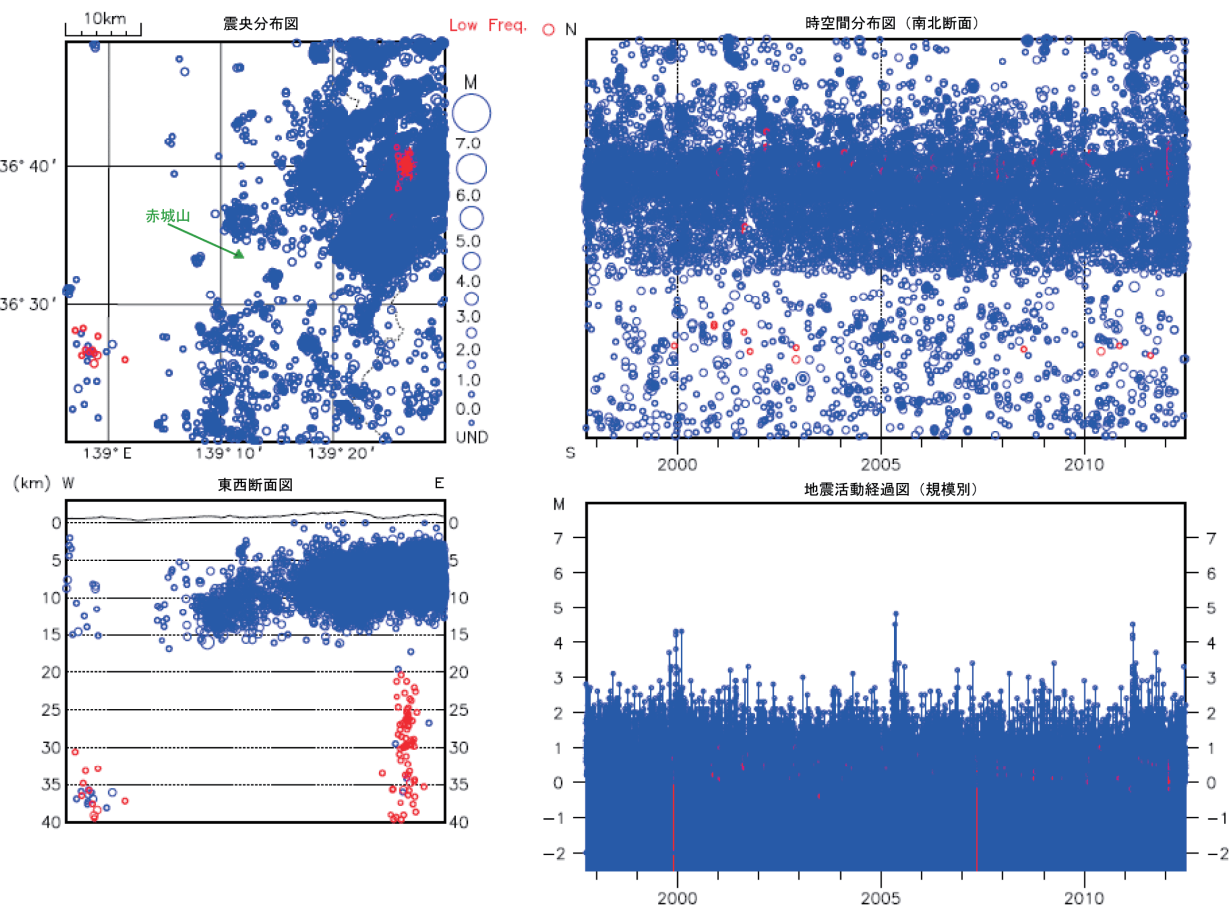


図 42-2 広域地震観測網による浅部の地震活動(青)及び深部低周波地震活動(赤)  
(1997年10月1日~2012年6月30日).

## 防災に関する情報

### ①火山防災協議会

なし

### ②避難実績及び入山規制等の実績

#### ・避難状況

なし

#### ・規制の状況

なし

#### ・規制の根拠となる地域防災計画など

前橋市の地域防災計画に、過去の火山の災害について記述されているが、規制の記述なし。その他の赤城山周辺の市の地域防災計画は、火山についての記述なし（渋川市、沼田市、桐生市）。

#### ・規制実施機関（関係機関）及び連絡先

前橋市市民部安全安心課

群馬県前橋市大手町2-12-1（TEL：027-898-5935）

富士見支所

前橋市富士見町田島240（TEL：027-288-2211）

その他周辺市村

渋川市、昭和村、沼田市、桐生市（下記項目③参照）



**社会条件等**

## ①人口

- ・前橋市：343,498人（2011年10月31日現在）
- ・渋川市：83,914人（2011年10月31日現在）
- ・昭和村：7,629人（2011年9月30日現在）
- ・沼田市：52,670人（2011年10月31日現在）
- ・桐生市：123,594人（2011年10月31日現在）

## ②国立・国定公園・登山者数等

- ・国立・国定公園指定なし

## ③付近の公共機関

機関・部署名	所在地	電話番号
前橋市役所	前橋市大手町 2-12-1	027-224-1111
前橋市役所富士見支所	前橋市富士見町田島 240	027-288-2211
渋川市役所	群馬県渋川市石原 80	0279-22-2111
昭和村役場	昭和村大字糸井 388	0278-24-5111 0278-22-4989
沼田市役所	沼田市西倉内町 780	0278-23-2111
桐生市役所	桐生市織姫町 1-1	0277-46-1111
中部県民局前橋土木事務所	前橋市上細井町 2142-1	0279-54-2011
中部環境事務所	前橋市上細井町 2142-1	027-219-2020

## ④主要交通網

- ・JR 両毛線（前橋駅）→（関越交通バス）→赤城山ビジターセンター
- ・上毛線（中央前橋駅）→（関越交通バス）→赤城山ビジターセンター
- ・県道 4 号線、16 号線、157 号線、251 号線

## ⑤関連施設

- ・前橋市
  - 県立赤城公園ビジターセンター
  - 赤城少年自然の家
  - 赤城山総合観光案内所

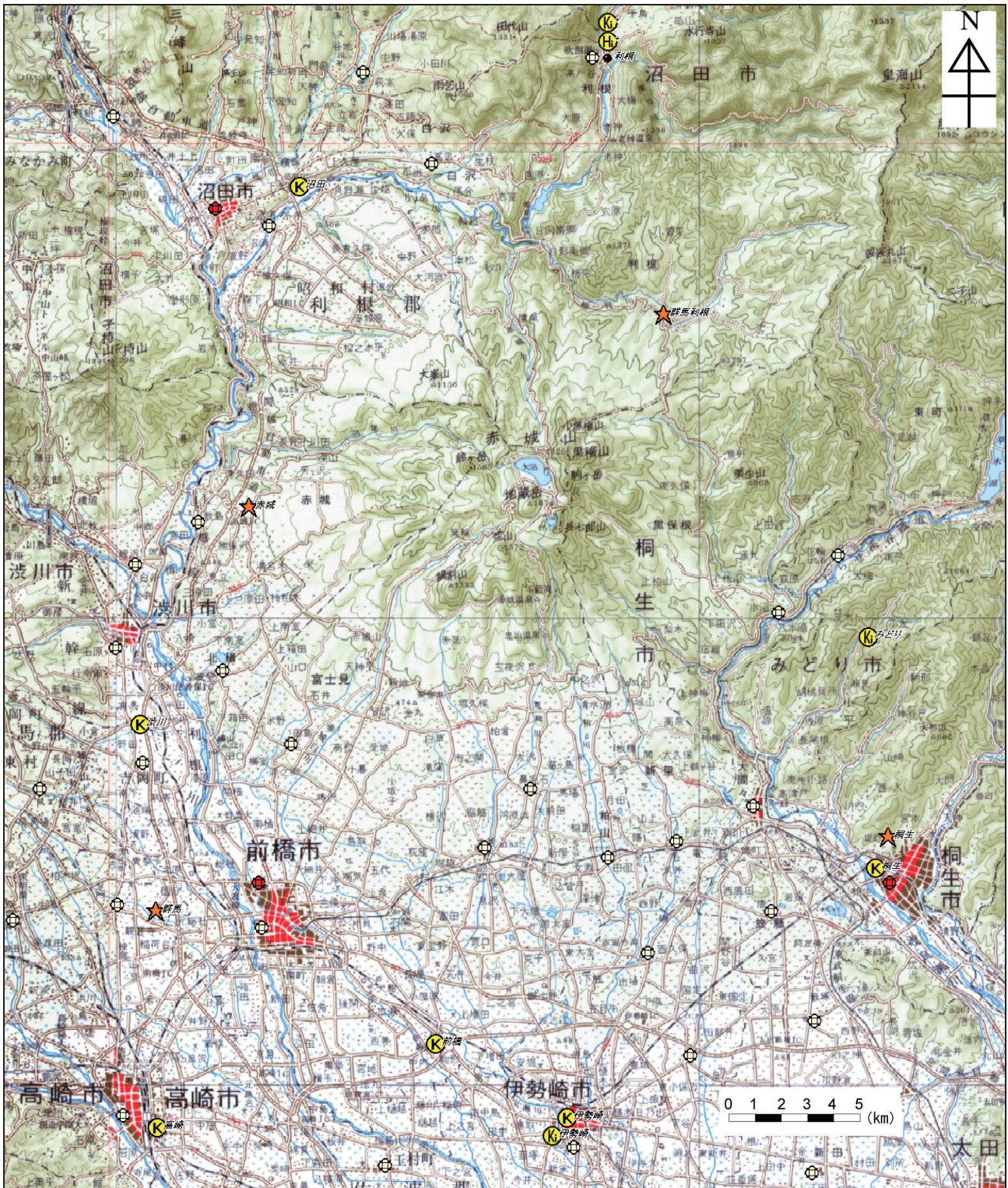
**関係する主な気象官署**

機関・部署名	所在地	電話番号
東京火山監視・情報センター	（気象庁本庁）東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-8341
前橋地方気象台	群馬県前橋市昭和町 3-20-12	027-231-2237



## 気象庁および大学等関係機関の観測網 広域

※ 同一地点に複数の計器を設置している場合には、観測点の位置を●で示し、その周囲に設置している観測点の種類を示している。



国土地理院発行の20万分の1地勢図(高田、日光、宇都宮、長野)

凡 例			
(気象庁)	(国土地理院)	(防災科学技術研究所)	(自治体)
● 震度計	★ GPS	● Hi-net	⊕ 震度計
		● K-NET	
		● KiK-net	

図 42-3 観測点位置図(広域)



## 引用文献

- 青木かおり・入野智久・大場忠道 (2008) 鹿島沖海底コア MD01-2421 の後期更新世テフラ層序. 第四紀研究, **47**, 391-407.
- 早川由紀夫 (1999) 赤城山は活火山か? (演旨). 地球惑星科学関連学会 1999 年合同大会予稿集, As-012.
- 峰岸純夫 (2003) 中世における赤城山於呂嶽 (荒山) の噴火と富士山浅間信仰. 日本中世史の再発見, 吉川弘文館, 132-144.
- 守屋以智雄 (1970) 赤城火山の形成史. 火山, **15**, 120-131.
- 及川輝樹 (2012) 赤城山と栗駒山の歴史時代の噴火記録. 日本火山学会講演予稿集, 2012 年度秋季大会, 140.
- 鈴木毅彦 (1990) テフロクロノロジーからみた赤城火山最近 20 万年間の噴火史. 地学雑誌, **99**, 60-74.
- 竹本弘幸 (1998) 3. 赤城火山—北関東の火山灰のふるさとをめぐって. 高橋正樹・小林哲夫 (編), 関東・甲信越の火山 I—フィールドガイド日本の火山 1, 築地書館, 52-73.